

夏播き用 極早生 えん麦

穂が最も早い 「はえいぶき」 穂重割合が高い



トウモロコシ、早期水稻後の秋作に最適

東北南部から九州まで対応可能

栽培適地：東北南部から九州まで

#### 栽培指針

1. 播種期：各地域の慣行に準じますが、適期播種が重要です。西南暖地では8月下旬から9月上旬が播種適期で、霜害回避のため9月末～10月中旬の播種は避けるべきです。
2. 播種法：播種量は、10a 当たり 6-8kg を基準とします。ブロードキャスターによる散播が可能です。播種後、軽い表層ロータリーで覆土し、鎮圧を行います。
3. 施肥量：各地域の慣行に準じますが、10a 当たり堆肥2～3トン、苦度石灰 60～100kg、三要素を成分で7～10kg を目安とします。
4. 栽培管理：水田裏作や転換畑においては滞水しないようにします。
5. 収穫期：刈取りは乳熟期を目安としますが、利用の目的にあわせた作業を行います。12～1月にかけて収穫作業が終了し、次の春作に向けた、堆肥散布等の作業が余裕をもって行えます。

一般社団法人 日本草地畜産種子協会 03-3251-6501

# 「はえいぶき」の特長

★出穂が最も早く、穂重割合が高い品種です。

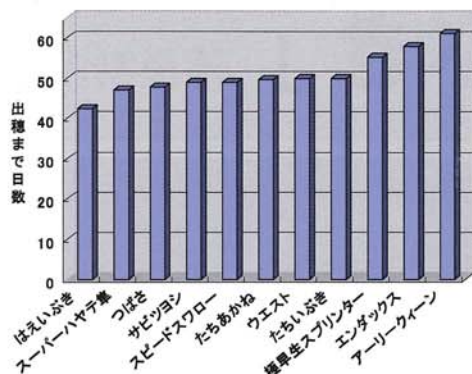


図1. 夏播き栽培における出穂まで日数  
(2003-2005年、熊本)

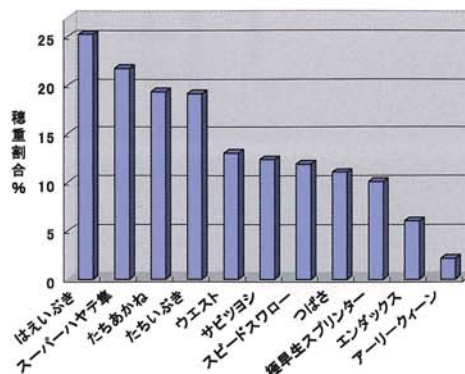


図2. 夏播き栽培における刈取り時の穂重割合  
(2003-2005年、熊本)

★九州では播種が遅れても9月下旬播種までなら年内出穂が可能で、出穂始め程度には到達します。

表 9月下旬播種における刈取時の出穂程度(熊本)

品種・系統	2003	2004	2005	2005	平均
	9/22播種	9/28播種	9/20播種	9/30播種	
<b>はえいぶき</b>	<b>7.3</b>	<b>6.7</b>	<b>6.3</b>	<b>3.3</b>	<b>5.9</b>
スーパーハヤテ隼	6.0	4.0	4.0	1.0	3.8

注) 出穂程度は、評点で1: 出穂無 - 9: 極多。



9月下旬播種における出穂程度 (2005.9.20 播種、2005.12.8 撮影)

【育成機関】 問い合わせ先:

(独)九州沖縄農業研究センター 合志拠点  
畜産草地研究領域 飼料作物育種グループ  
電話 096-2424-7754、FAX 096-249-1002